



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和7年度

農村振興部

外来生物駆除手法等検討業務

# 積算書

(当初)

九州農政局  
農村振興部

















事業名	農村振興部
業務名	外来生物駆除手法等検討業務

業務別業務名: 令和7年度外来生物駆除手法等検討業務

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	*** S単 - 1号 *** 計画準備 設計労務(直接人件費内業)		式	273,300		歩A・単A
S63003	*** S単 - 2号 *** 調査結果の点検取りまとめ及び報告書作成 設計労務(直接人件費内業)		式	336,650		歩A・単A
S63003	*** S単 - 3号 *** アメリカザリガニ採捕調査に係るデータ整理等 設計労務(直接人件費内業)		式	273,400		歩A・単A
S63007	*** S単 - 4号 *** 現地踏査 設計労務(直接人件費外業)		式	74,200		歩A・単A
S63007	*** S単 - 5号 *** アメリカザリガニ採捕調査(任意) 設計労務(直接人件費外業)		式	49,960		歩A・単A
S63007	*** S単 - 6号 *** アメリカザリガニ採捕調査(あなごカゴ) 設計労務(直接人件費外業)		式	169,200		歩A・単A
S63007	*** S単 - 7号 *** アメリカザリガニ採捕調査(連続捕獲装置) 設計労務(直接人件費外業)		式	169,200		歩A・単A
S63007	*** S単 - 8号 *** 頭胸甲長の計測等 設計労務(直接人件費外業)		式	249,800		歩A・単A
S63007	*** S単 - 9号 *** 殺処分 設計労務(直接人件費外業)		式	91,680		歩A・単A
S63007	*** S単 - 10号 *** 採捕調査の移動に係る直接人件費 設計労務(直接人件費外業)		式	249,800		歩A・単A
S63010	*** S単 - 11号 *** 打合せ(着手前・最終) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.08日		回	73,370		歩A・単A
S63010	*** S単 - 12号 *** 打合せ(中間) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.08日		回	62,698		歩A・単A
S63011	*** S単 - 13号 *** 打合せ旅費交通費(日帰り・着手前・最終) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,,L<100km(100km未満)		回	652		歩A・単A
S63011	*** S単 - 14号 *** 打合せ旅費交通費(日帰り・中間) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,,L<100km(100km未満)		回	652		歩A・単A
S63017	*** S単 - 15号 *** アメリカザリガニ採捕調査旅費交通費 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,0.50日,2日,2時間,なし,100km L(100km以上)		式	10,801		歩A・単A
S63018	*** S単 - 16号 *** 現地踏査旅費交通費 旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,1日,4時間		式	9,461		歩A・単A
S63023	*** S単 - 17号 *** 成果品作成費 電子納品版業務報告書作成 1,A-4,600,8cm,0		式	8,345		歩A・単A

事業名	農村振興部
業務名	外来生物駆除手法等検討業務

業務別業務名: 令和7年度外来生物駆除手法等検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	計画準備 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	0.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	1.00人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	2.00人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	1.000	人	36,100	36,100	
	合計				273,300	算出数量 1.000 式
	単価		式		273,300	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	調査結果の点検取りまとめ及び報告書作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	0.50人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	1.00人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	1.50人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.50人				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	1.500	人	48,500	72,750	
R04006	技師(C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	2.500	人	36,100	90,250	
	合計				336,650	算出数量 1.000 式
	単価		式		336,650	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	アメリカザリガニ採捕調査に係るデータ整理等 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	0.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	0.50人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	1.50人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.50人				
R04004	技師(A)	0.500	人	59,600	29,800	
R04005	技師(B)	1.500	人	48,500	72,750	
R04006	技師(C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	2.500	人	36,100	90,250	
	合計				273,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		273,400	

事業名	農村振興部
業務名	外来生物駆除手法等検討業務

業務別業務名: 令和7年度外来生物駆除手法等検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 4号 ***						
S63007	現地踏査 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師(A) 外業	0.500	人	59,600	29,800	
R04005	技師(B) 外業	0.500	人	48,500	24,250	
R04006	技師(C) 外業	0.500	人	40,300	20,150	
	合計				74,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		74,200	
*** S単 - 5号 ***						
S63007	アメリカザリガニ採捕調査(任意) 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.40人				
	6)技師Cの人数	0.40人				
	7)技術員の人数	0.40人				
R04005	技師(B) 外業	0.400	人	48,500	19,400	
R04006	技師(C) 外業	0.400	人	40,300	16,120	
R04007	技術員 外業	0.400	人	36,100	14,440	
	合計				49,960	算出数量 1.000 式
	単価		式		49,960	
*** S単 - 6号 ***						
S63007	アメリカザリガニ採捕調査(あなごカゴ) 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04005	技師(B) 外業	2.000	人	48,500	97,000	
R04007	技術員 外業	2.000	人	36,100	72,200	
	合計				169,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		169,200	
*** S単 - 7号 ***						
S63007	アメリカザリガニ採捕調査(連続捕獲装置) 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				

事業名	農村振興部
業務名	外来生物駆除手法等検討業務

業務別業務名: 令和7年度外来生物駆除手法等検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	5) 技師 B の人数	2.00人				
	6) 技師 C の人数	0.00人				
	7) 技術員 の人数	2.00人				
R04005	技師 ( B ) 外業	2.000	人	48,500	97,000	
R04007	技術員 外業	2.000	人	36,100	72,200	
	合計				169,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		169,200	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63007	頭胸甲長の計測等 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1) 主任技術者の人数	0.00人				
	2) 技師長の人数	0.00人				
	3) 主任技師の人数	0.00人				
	4) 技師 A の人数	0.00人				
	5) 技師 B の人数	2.00人				
	6) 技師 C の人数	2.00人				
	7) 技術員 の人数	2.00人				
R04005	技師 ( B ) 外業	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 ( C ) 外業	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員 外業	2.000	人	36,100	72,200	
	合計				249,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		249,800	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63007	殺処分 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1) 主任技術者の人数	0.00人				
	2) 技師長の人数	0.00人				
	3) 主任技師の人数	0.00人				
	4) 技師 A の人数	0.00人				
	5) 技師 B の人数	0.00人				
	6) 技師 C の人数	1.20人				
	7) 技術員 の人数	1.20人				
R04006	技師 ( C ) 外業	1.200	人	40,300	48,360	
R04007	技術員 外業	1.200	人	36,100	43,320	
	合計				91,680	算出数量 1.000 式
	単 価		式		91,680	
	*** S 単 - 10号 ***					
S63007	採捕調査の移動に係る直接人件費 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1) 主任技術者の人数	0.00人				
	2) 技師長の人数	0.00人				
	3) 主任技師の人数	0.00人				
	4) 技師 A の人数	0.00人				
	5) 技師 B の人数	2.00人				
	6) 技師 C の人数	2.00人				
	7) 技術員 の人数	2.00人				
R04005	技師 ( B ) 外業	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 ( C ) 外業	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員 外業	2.000	人	36,100	72,200	
	合計				249,800	算出数量 1.000 式

事業名	農村振興部
業務名	外来生物駆除手法等検討業務

業務別業務名: 令和7年度外来生物駆除手法等検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		249,800	
	*** S単 - 11号 ***					
S63010	打合せ(着手前・最終)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.08日					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種				深夜時間:0.0
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.080日				
R04003	主任技師	0.580	人	66,900	38,802	
R04004	技師(A)	0.580	人	59,600	34,568	
	合 計				73,370	算出数量 1.000 回
	単 価		回		73,370	
	*** S単 - 12号 ***					
S63010	打合せ(中間)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.08日					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種				深夜時間:0.0
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.080日				
R04004	技師(A)	0.580	人	59,600	34,568	
R04005	技師(B)	0.580	人	48,500	28,130	
	合 計				62,698	算出数量 1.000 回
	単 価		回		62,698	
	*** S単 - 13号 ***					
S63011	打合せ旅費交通費(日帰り・着手前・最終)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,, L < 100km (100km未満)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種				深夜時間:0.0
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.08日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	326円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	326	652	
	合 計				652	算出数量 1.000 回
	単 価		回		652	

事業名	農村振興部
業務名	外来生物駆除手法等検討業務

業務別業務名: 令和7年度外来生物駆除手法等検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 14号 ***					
S63011	打合せ旅費交通費(日帰り、中間)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種、中間、通勤により打合せ...一般交通機関、0日...L<100km (100km未満)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)設計工種	一般工種				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.08日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	326円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L<100km(100km未満)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2,000	人	326	652	
	合計				652	算出数量 1,000回
	単価		回		652	
	*** S単 - 15号 ***					
S63017	アメリカザリガニ採捕調査旅費交通費		式		1,000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地、ライトバン、0.50日、2日、2時間、なし、100km L(100km以上)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)宿泊地	乙地				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)交通機関区分	ライトバン				
	3)高速道路往復料金(税別)	5,708円				
	4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	2時間				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	0.000日				
	14)技師A外業日数	0.000日				
	15)技師B外業日数	1.600日				
	16)技師C外業日数	0.900日				
	17)技術員外業日数	1.900日				
	18)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54204	設計用技師(B)日当 消費税抜き	2,000	人	0	0	
P54205	設計用技師(C)日当 消費税抜き	2,000	人	0	0	
P54206	設計用技術員日当 消費税抜き	2,000	人	0	0	
P54004	設計用技師(B)宿泊費 (乙地)消費税抜き(4級相当)	1,000	人	0	0	
P54005	設計用技師(C)宿泊費 (乙地)消費税抜き(3級相当)	1,000	人	0	0	
P54006	設計用技術員宿泊費 (乙地)消費税抜き(2級相当)	1,000	人	0	0	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1,000	人	0	0	
P54112	外業の滞在日額旅費2級相当以下 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1,000	人	0	0	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1,000	式	5,708	5,708	
M28121	ライトバン[ガソリン]二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L	2,000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10,800	L	166	1,793	
	合計				10,801	算出数量 1,000式
	単価		式		10,801	

事業名	農村振興部
業務名	外来生物駆除手法等検討業務

業務別業務名: 令和7年度外来生物駆除手法等検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 16号 ***					
S63018	現地踏査旅費交通費		式		1,000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,1日,4時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)交通機関区分	ライトバン				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)高速道路往復料金(税別)	5,708円				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	1日				
	8)時間区分	4時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	0.000日				
	11)設計用技師A外業日数	0.500日				
	12)設計用技師B外業日数	0.500日				
	13)設計用技師C外業日数	0.500日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1,000	式	5,708	5,708	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10,800	L	166	1,793	
	合計				9,461	算出数量 1,000 式
	単価		式		9,461	
	*** S単 - 17号 ***					
S63023	成果品作成費		式		1,000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 600, 8cm, 0					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)報告書部数(部)	1,000				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)規格区分	A - 4				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)枚数区分(枚)	600				深夜時間:0.0
	4)厚さ区分	8cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43438	報告書焼付代(コピー) A - 4以下 600枚	1,000	部	7,650	7,650	
P43543	簡易加除式ファイル A 4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1,000	冊	695	695	
P43602	CD - R CD - R(記録面色素フタロシアニン)700MB	0,000	枚	47	0	
	合計				8,345	算出数量 1,000 式
	単価		式		8,345	



令和7年度

外来生物駆除手法等検討業務

特別仕様書

九州農政局 農村振興部 農村環境課

## 第1章 総則

### 第1-1条 (適用範囲)

令和7年度外来生物駆除手法等検討業務の実施に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記事項及び追加事項は、この特別仕様書による。

### 第1-2条 (目的)

本業務は、ため池等農業水利施設及び生態系に被害を及ぼすアメリカザリガニの生息状況を把握し、農業用水運用や生物生息状況等に応じたアメリカザリガニの駆除手法及び駆除による環境再生に係る評価手法、施設改修・更新の際の対策手法等を体系的に整理し、取りまとめるための基礎データを収集し、適切な手法等を検討するものである。

### 第1-3条 (場所)

業務位置は、福岡県福津市内の農業用ため池であり、別紙1及び2に示すとおりである。

### 第1-4条 (一般事項)

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 土地の踏み荒らし、立木伐採、観測施設の破損等に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。なお、現地立入りにあたっては、監督職員等に連絡を取った後、作業に着手するものとする。
- (2) 受注者は常に業務内容を把握し、業務中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

### 第1-5条 (管理技術者)

- (1) 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理部門	農業－農業土木、農業－農村環境、農業－農業農村工学、農業－農村地域・資源計画、環境－環境保全計画、環境－自然環境保全、環境－環境影響評価、建設－建設環境
	農業部門	農業土木、農村環境、農業農村工学、農村地域・資源計画
	環境部門	環境保全計画、自然環境保全、環境影響評価
	建設部門	建設環境
RCCM (シビルコンサルティングマネージャ)	農業土木	
	建設環境	
博士	当該業務に関連する学術部門	

※技術士は国家資格(文部科学省所管)、RCCMは民間資格(国土交通省所管)となる。

- (2) 別紙3に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約

した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

#### 第1-6条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

#### 第1-7条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

### 第2章 作業内容

#### 第2-1条（業務項目及び数量）

本業務における業務項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は第2-2条（業務内容）に示すものとする。

業 務 項 目	数 量	備 考
1. 計画準備	1式	
2. 現地踏査	1式	
3. 生物多様性保全対策の実証調査	1式	
4. 調査結果の点検取りまとめ及び報告書作成	1式	

#### 第2-2条（業務内容）

##### (1) 計画準備

第4章第4-1条による第1回打合せの前に、業務計画の作成及び調査準備を行う。

##### (2) 現地踏査

発注者と受注者が合同で現地踏査を行い、具体的な生物調査の実施地点等を定める。実施時期及び実施回数は、生物多様性保全対策の実証調査前の1回とする。

##### (3) 生物多様性保全対策の実証調査

###### 1) アメリカザリガニの駆除手法等検討のための採捕調査

前掲(2)現地踏査にて定めた生物調査の実施地点において、アメリカザリガニの駆除手法等検討のための採捕調査を実施する。

ア 調査時期

7月～10月の間

イ 調査回数

4回

ウ 調査方法

下表1のとおり任意採集及びトラップ採集の併用により採捕調査を行う。

表1 採捕調査の実施方法、作業量、地点数

調査内容	実施方法	捕獲努力量
任意採集	タモ網、サデ網	1回あたり3人×10分間×3地点
トラップ採集	あなごカゴ	1回あたり15個設置し、翌日回収
	連続捕獲装置	1回あたり5個設置し、次回作業時を目途に回収

【任意採集】

- ・タモ網、サデ網を使用し、アメリカザリガニの生息の可能性が高い浅瀬、植生のあるところ等において採捕調査を行う。
- ・調査範囲は胴長で立ち入り可能な範囲とする。
- ・任意採集の地点は、現地踏査の結果を考慮の上、決定する。

【トラップ採集】

- ・あなごカゴ、連続捕獲装置を用い、アメリカザリガニの生息の可能性が高い浅瀬、植生のあるところ等に設置し、設置の翌日（連続捕獲装置は次の回）に引き上げ個体を採捕する。
- ・あなごカゴ、連続捕獲装置は発注者が準備する。
- ・現場の状況により任意採集を減じる場合には、トラップ採集を増やすなど適宜調整するが、最終的に適切なトラップ設置場所の選定も駆除手法の要素の一つとなるため、できるだけ調査期間中のトラップ設置箇所を固定する。
- ・トラップの設置地点は、現地踏査の結果を考慮の上、決定する。

2) 採捕個体の雌雄区分、頭胸甲長の計測等

ア 採捕個体の計測、写真撮影

採捕後は、採捕場所、方法別に、デジタルノギスを用いて、頭胸甲長（眼窩—頭胸甲長；OCL）を0.1mm単位で計測、雄・雌（抱卵有無、抱稚ザリ有無）に区分して個体数を記録し、殺処分する。

なお、採捕場所、方法別に100を超える個体が採捕された場合には、総数を記録した上で、100個体を上限に上記に示した方法で計測、記録を行う。また、任意採集及びトラップ採集の状況や捕獲状況が分かる写真撮影を行う。

イ データ整理

上記の1)ウ及び2)アに係るデータ整理については、受注者で整理を行う。

(4) 調査結果の点検取りまとめ及び報告書作成

- 1) (3)の調査結果について整理を行い、別途農林水産本省が発注する調査事業の有

識者委員会（11月及び2月を想定。以下「委員会」という。）等での指導・助言の下で、農業用水運用や生きものの生息状況等に応じた外来生物の駆除方法、外来生物駆除による環境再生に係る評価と課題等について整理する。

- 2) 委員会までに調査結果を提出するものとする。また、詳細な日程は、契約後連絡するものとする。
- 3) 上記委員会の指導・助言を反映させたもので報告書を取りまとめ、報告書の要点を簡潔にまとめた要約版も作成する。

### 第3章 参考図書及び貸与資料

#### 第3-1条（参考図書）

参考図書は次表のとおりとする。

番号	図書名	数量	備考
1	アメリカザリガニ対策の手引き（環境省、令和5年4月改訂）	一式	

#### 第3-2条（貸与資料）

貸与資料は次表のとおりとする。

番号	業務名	数量	備考
1	令和5年度 外来生物駆除手法等検討業務 報告書	一式	
2	令和6年度 外来生物駆除手法等検討業務 報告書	一式	
3	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	一式	

#### 第3-3条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第3-1条、第3-2条に示す貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか、完了検査時に一括返納しなければならない。

#### 第3-4条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

##### (1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

## (2) 機器等の購入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

## (3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。

なお、上記1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案)6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

## (4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL([https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index\\_digital.html](https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html))のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

## (5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第4章 打合せ

### 第4-1条(打合せ)

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初回 設計作業着手の段階

第2回 業務中間段階(採捕調査結果の整理段階。11月開催予定の委員会前を想定。)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、別紙3に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

## 第5章 成果物

### 第5-1条(成果物)

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない

い。

- (1) 成果物の電子媒体 (CD-R 等) 正副 2 部

#### 第 5 - 2 条 (成果物の提出先等)

成果物の提出先は、次のとおりとする。

〒860-8527 熊本県熊本市西区春日 2 丁目 10 番 1 号熊本地方合同庁舎  
九州農政局農村振興部農村環境課環境保全係

### 第 6 章 契約変更

#### 第 6 - 1 条 (契約変更)

業務請負契約書第 17 条から第 20 条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

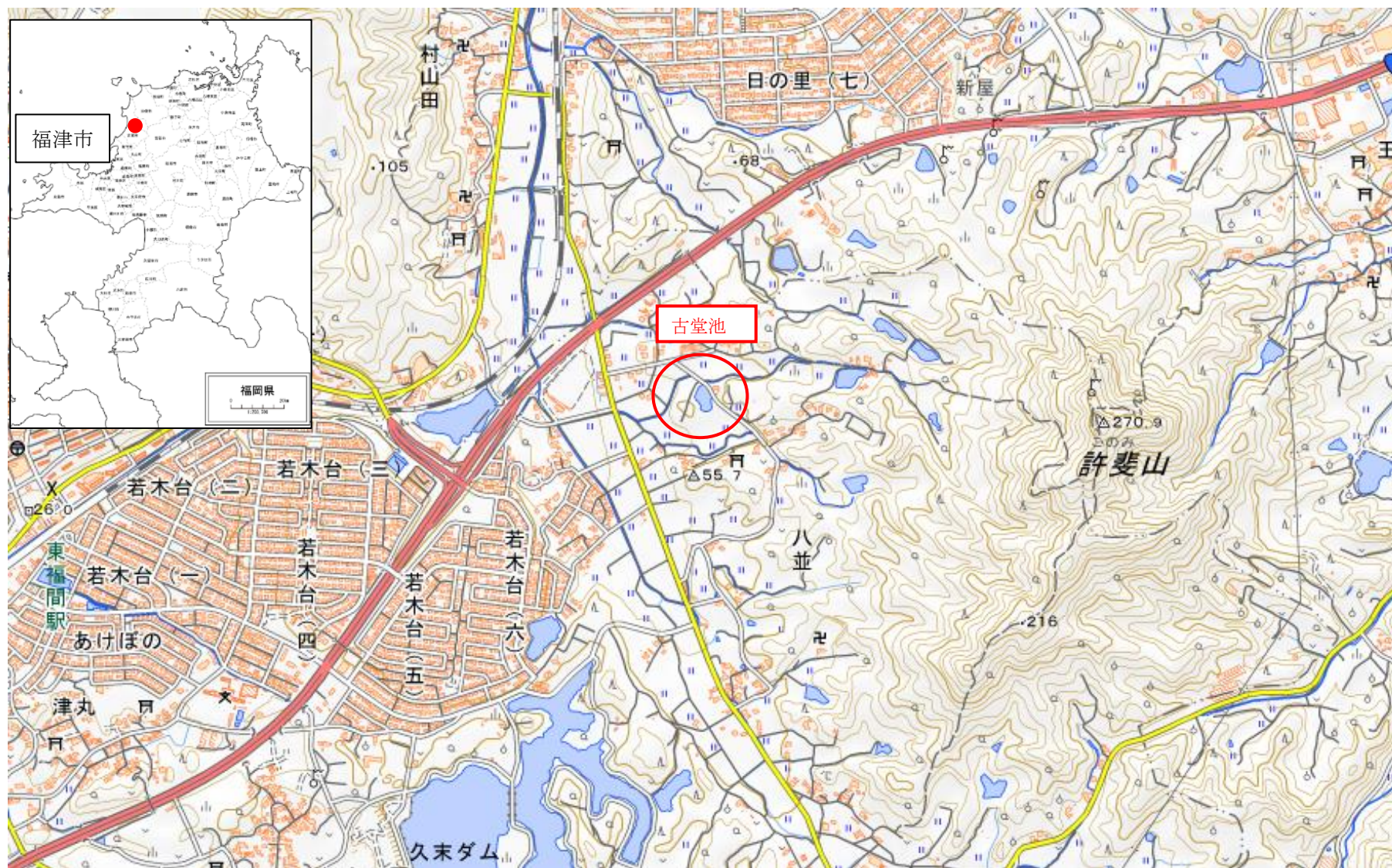
- (1) 第 2 - 1 条に示す、「業務項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (2) 第 4 - 1 条に示す、「打合せ」に変更が生じた場合。
- (3) 第 5 - 1 条に示す、「成果物」に変更が生じた場合。
- (4) 履行期間の変更が生じた場合。
- (5) その他

### 第 7 章 その他

#### 第 7 - 1 条 (定めなき事項)

この特別仕様書に定めなき事項又は本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙1 調査位置図



地理院地図（電子国土 Web）（国土地理院）を加工して作成

別紙2 福津地区 古堂池



地理院地図（電子国土 Web）（国土地理院）を加工して作成

- ① 古堂池  
福岡県福津市八並  
貯水量 6.8 千 $m^3$ 、受益地 4 ha  
湛水面積 約 2.0 千 $m^2$

別紙3 (第1-5条、第4-1条関連)

【割合】

予定価格算出の基礎となった同表A~Dまでに掲げる額の合計額に100分の110を乗じて得た額を予定価格で除して得た割合とする。ただし、その割合が10分の8.1を超える場合にあっては10分の8.1とし、10分の6に満たない場合にあっては10分の6とする。

業種区分	A	B	C	D
建設コンサルタント業務 (土木関係のもの)	直接人件費の額	直接経費の額	その他原価の額に10分の9を乗じて得た額	一般管理費等の額に10分の5を乗じて得た額